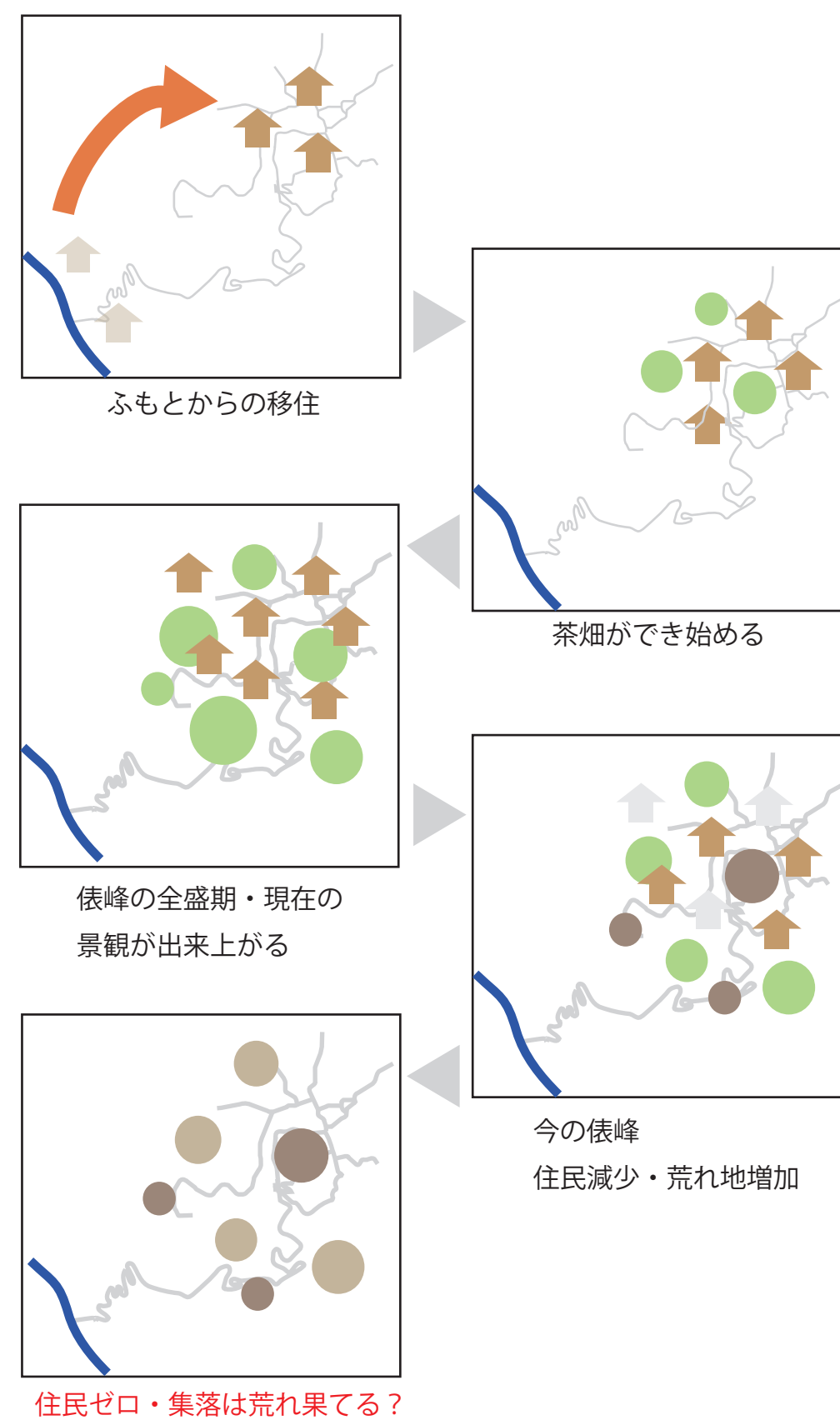




集落消滅・独特の景観は失われる??



茶畑が減少

耕作放棄地の増加

お茶から撤退

狭い道路

交通手段は自家用車のみ

過疎化が進行

少子高齢化

茶葉の加工用機械補助金が出ず、買えない。

せめて荒れ地にはしたくないので、植林をする人も。きれいな風景を残したい…

働き手の多くは70歳代。担い手の減少も問題。

野菜ならまだ採算が取れるので、転作が進んでいる。

人がいなくなるとサービスも撤退。するとさらに人は流出。

子育てには厳しい環境。若い人は市街地へ出て行ってしまう。

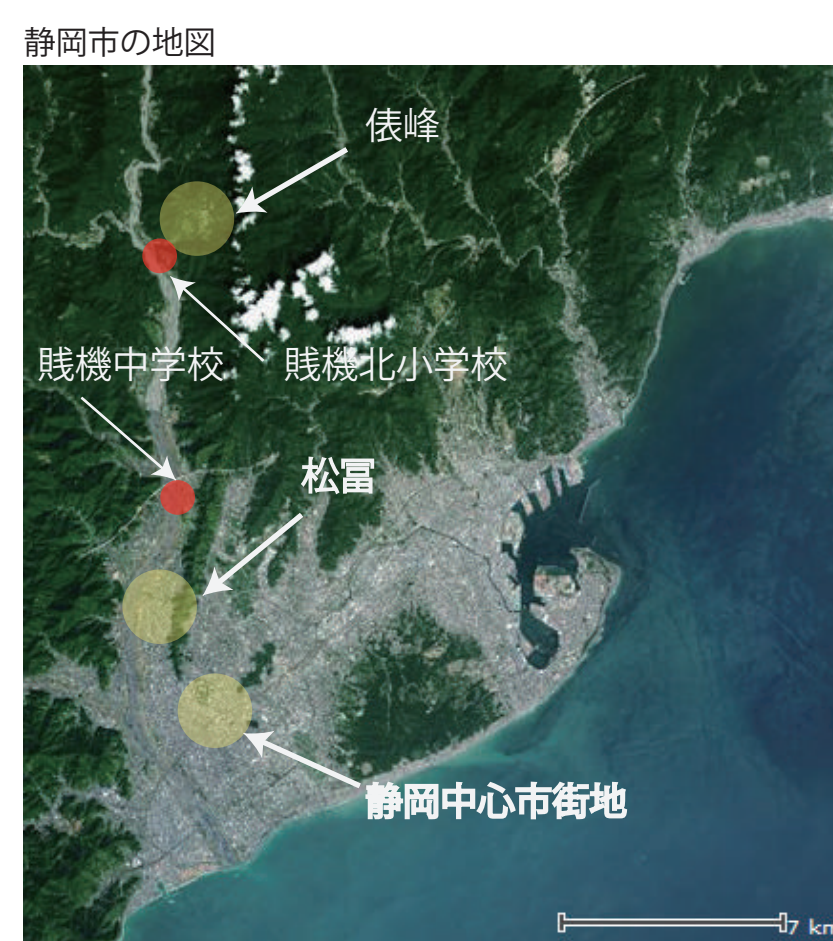
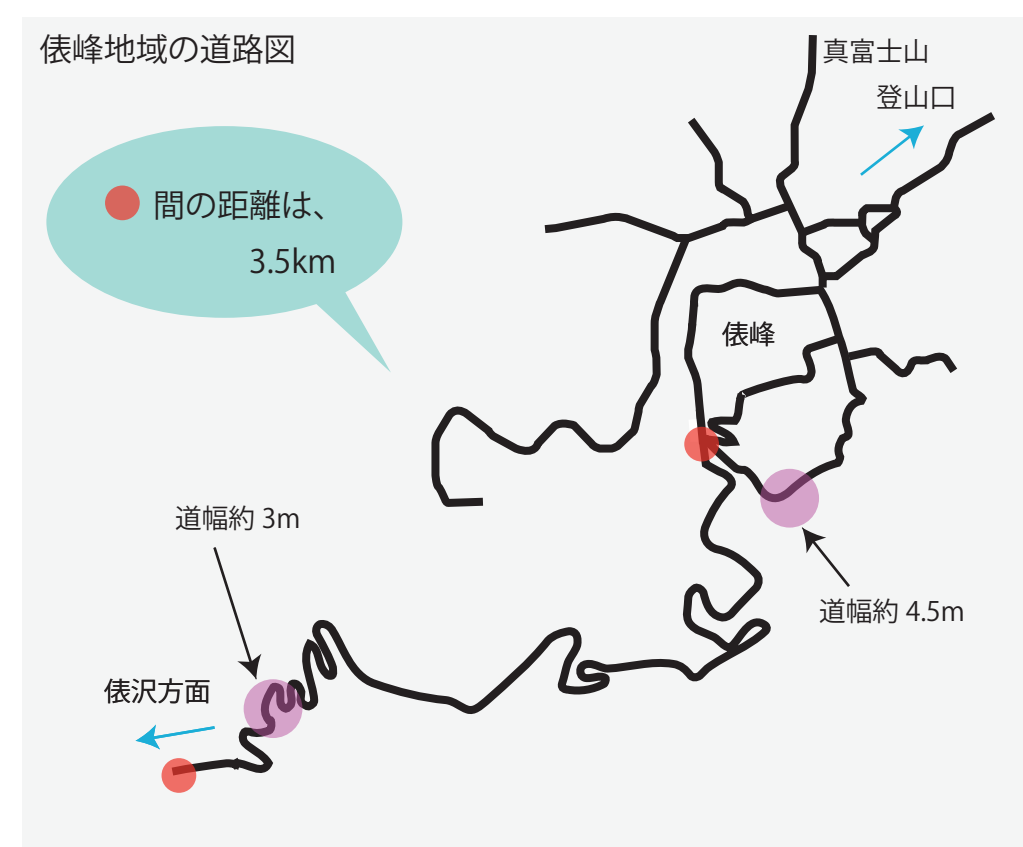
周りの年寄りがいなくなって寂しい…

集落と茶畑が織りなす俵峯らしい美しさが失われる

1000円/ha

Year	Agricultural Expenses (1000円/ha)	Agricultural Income (1000円/ha)
平成16年 (2004)	180	230
17 (2005)	160	240
18 (2006)	120	210
19 (2007)	100	230
20 (2008)	50	250
21 (2009)	30	210
22 (2010)	40	210
23 (2011)	30	200

■ 農業経営費 ■ 農業所得



▶ 課題・コンセプト

集落と住民に心地よい規模の茶畑を残す

既存のコミュニティを維持しつつ、住民が手を施せる範囲で茶畑の景観を保全する。この地を訪れた人も住んでいる人も心地よい空間をデザインする。

